

只見高校生を激励

進路講演会「目標達成の秘訣～自分を磨く三分間」

エアレース・パイロットの室屋義秀さんが、8月27日に只見高校で「目標達成の秘訣～自分を磨く3分間～」を演題に講演をされました。

室屋さんはエアレースを始めたきっかけや海外でのエピソードを交えながら、「海外の選手は『俺ならできる』と当然のように話す。失敗を恐れなくて最初の一歩を踏み出して欲しい。君たちにならできるよ」と楽しい未来のイメージを持つことの大切さと生徒への激励の言葉を送りました。

○室屋義秀さん

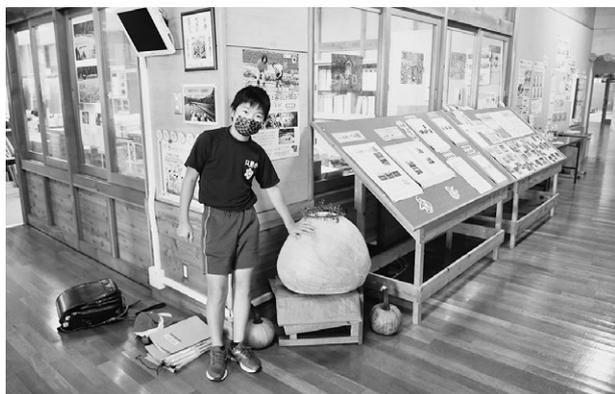
エアレース・パイロット。2017年レッドブル・エアレース・ワールドシリーズでは、アジア人初となる年間総合優勝。福島県県民栄誉賞、ふくしまスポーツアンバサダーなど受賞。



▲「今日からほんの少しずつやってみよう」と生徒へ語る室屋さん

おおきなかぼちゃにビックリ

只見小におばけかぼちゃの寄贈



▲おおきなかぼちゃに足をとめた児童

羽染達子さん（只見）が、只見小学校におばけかぼちゃを寄贈されました。羽染さんは、約10年間毎年秋になると、おばけかぼちゃを寄贈されているとのことで、「こどもたちの日常の中の刺激になって、喜んでくれたら嬉しい」と話しました。

かぼちゃを見た児童は「凄く大きくてびっくりしました」と感想を話しました。

寄贈されたかぼちゃは児童玄関に飾られ、ハロウィンシーズンに華を添えると共に、児童の登下校を見守っています。

自然観察会「夏のブナ林で昆虫観察会」

只見町ブナセンター主催の自然観察会「夏のブナ林で昆虫観察会」を、8月28日(土)に梁取のブナ林(学びの森)で開催し、17人が参加しました。

参加者はブナセンター職員の解説で、ブナ林内で見られた生きものや昆虫調査用のトラップにかかっていた昆虫を観察しました。夜行性のため普段あまり目にする事のないオサムシの仲間やブナを食べるカミキリムシなどが見られ、参加者は実物を観察しながらブナ林に生息する昆虫の生態について理解を深めました。



▲ブナ林に生息するセミ類の解説を聞く参加者

自己ベストに挑戦!

小学校陸上記録交歓会

「第51回只見町小学校陸上記録交歓会」が、9月22日に町下運動広場で開催され、町内3小学校の5、6年生が参加しました。

今年からリレーが男女混成競技となりましたが、どのチームも息の合ったバトンパスで、ゴールまで一生懸命に走りました。

女子ジャベリックボール投げでは、只見小6年の五十嵐愛葉さんが大会新記録を更新しました。



▲リレーでは見事なバトンパスをつなぎました

第51回只見町小学校陸上記録交歓会 入賞者(3位まで) ※敬称略

		1位	2位	3位
男	1000m	三瓶 叶翔(只・6) 3分32秒7	岩佐 澤乃(朝・6) 3分34秒6	加藤 彰(只・5) 3分35秒4
	100m	木津 大翔(朝・6) 14秒2	青山 翔(只・6) 16秒2	三瓶 智大(朝・6) 19秒1
	80mハードル	梁取 暖(明・6) 15秒1	渡部 悠希(朝・5) 16秒1	矢沢 博哉(只・6) 17秒3
	走り幅跳び	矢沢 悠樹(明・6) 3m98cm	齋藤 珀(只・5) 2m92cm	増田 巧(朝・5) 2m58cm
子	走り高跳び	齋藤 充希(明・5) 1m10cm		
		伏見 英哲(明・6) 1m10cm		
	ジャベリックボール投げ	目黒純乃介(明・6) 40m95cm	山内 珠樹(明・5) 40m8cm	菊地 煌(明・5) 39m69cm
	800m	角田 杏(明・5) 2分59秒4	矢沢 葉(只・6) 3分04秒2	
女	100m	三瓶 結菜(明・5) 16秒1	鈴木 雛乃(只・6) 16秒2	目黒ゆまり(朝・5) 16秒9
	80mハードル	湯田 桃杏(只・6) 15秒6	大竹 杏奈(只・6) 15秒9	新國菜々香(只・6) 16秒4
	走り幅跳び	菊地 華恋(明・5) 3m12cm	菅家 凜々(只・6) 2m84cm	湯田 桜杏(只・6) 2m73cm
	走り高跳び	山内 悠愛(明・6) 1m09cm	星 柚子葉(明・6) 1m03cm	
子	ジャベリックボール投げ	五十嵐愛葉(只・6) 35m74cm		
	男女混合リレー	明和小 1分02秒3	只見小 1分02秒8	朝日小 1分04秒1



▲「紅白玉入れ」(14日/只見保育所)



▲「つなひき」(16日/明和保育所)

みんな一生懸命頑張りました 保育所で運動会

町内3保育所の運動会が開催され、園児たちが元気いっぱいに各種目に取り組みました。

会場を訪れた保護者は園児たちに声援を送り、園児たちもそれに後押しされるよう一生懸命に頑張りました。転んでしまった園児も最後まで泣かずに競技をしました。

保護者参加の競技では、息を揃えてゴールを目指し、親子の絆を深めました。



▲「あいうえおんがく」(15日/朝日保育所)